

KITAURA

Culture + Innovation

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。

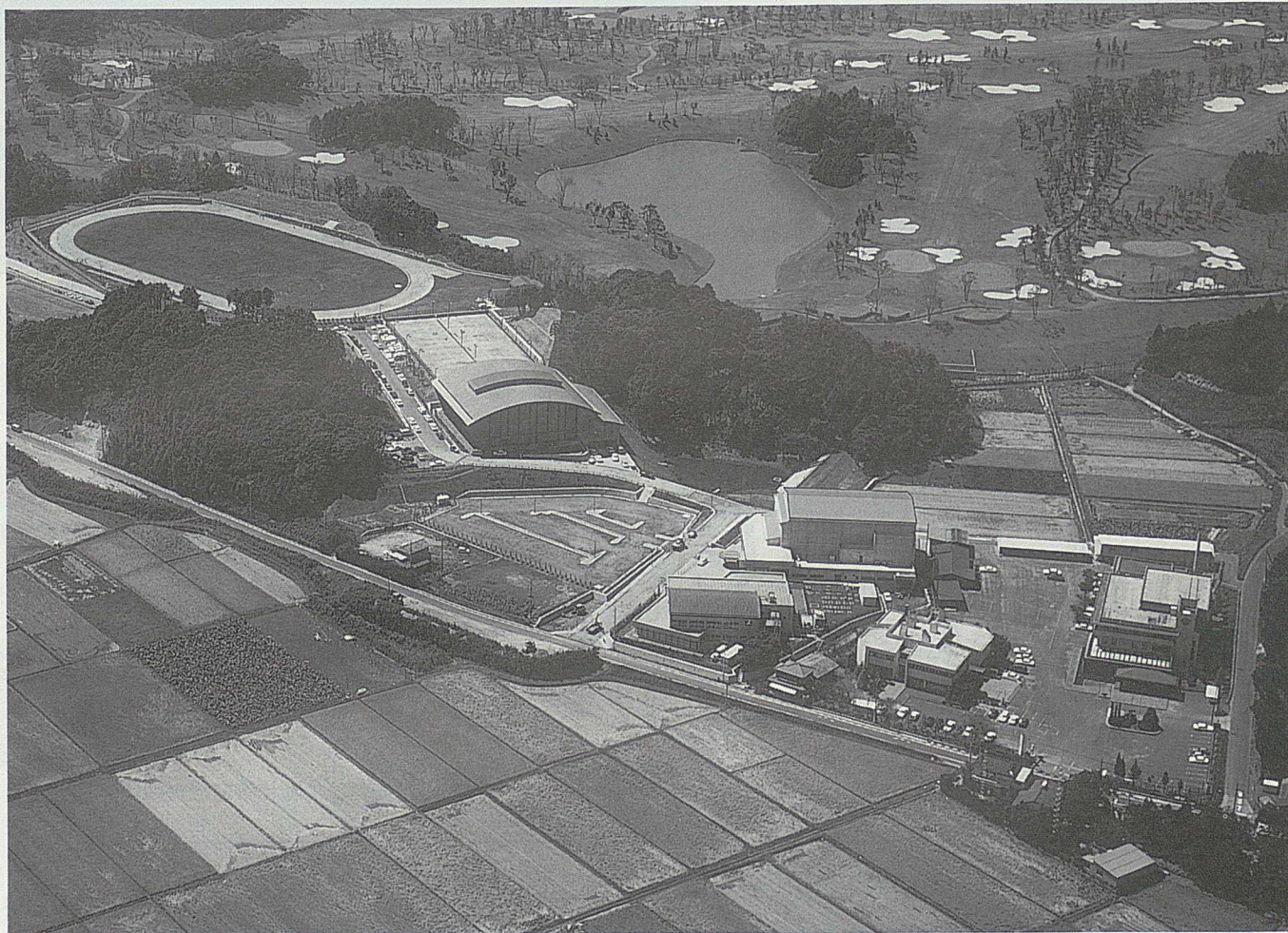
「大地の息吹」に価値を創造します。

「明日の世代」にふれあいを手わたします。

平成6年10月14日(金)発行 No.330

広報きたうら

茨城県行方郡北浦村



ふれあいの郷竣工式

尾曾正人・三遊亭歌之介を招いて記念講演

2・3

魅力の村づくり

具体的な施策にむかって・「魅力の村づくり」は今始まった

4・5

親子ふれあいの船

参加者からの報告

6・7・8・9

国民年金の概要	年金受給者2,589人	10
生涯学習	作詩家 山田とも子氏	11
むらの話題	ハウステンボスで農業後継者交流	12
さわやか健康	在宅介護者洗髪の実技指導	13
むらづくりは人づくり	鈴木庚さん高齢者よい歯コンクール優秀賞	14
文芸きたうら	親と子の心のかけ橋	15
おしらせ	産業廃棄物の不法投棄をなくそう	16

る夢咲かせます

郷』竣工を機にさらに大きく飛躍



村長
磯山伸知

北浦村は、水と緑豊かな環境の中で、住みよい田園都市を目標に、村づくりを進めてまいりましたが、近年、社会経済情勢の変化にともない、住民の価値観も多様化してまいりました。

これらの社会変化に的確に対応した村づくりを実現するため、昭和61年に新総合計画を策定、基本目標に「ふれあいと活力に満ちたふるさと・北浦」を指針とし、その中で、ふれあい・文化・スポーツの振興を推進するため「ふれあいの郷構想」を計画しました。平成元年度に用地取得以来、中央公民館・体育館・文化会館の建設、テニスコート・多目的グラウンド・クロッケーコート・散策路・東屋等の整備、そして本年度に駐車場の整備を行い、着手以来6年の歳月を経て、このほど「ふれあいの郷」としての施設が完成いたしました。

これらは、ひとえに、計画に対しご理解いただき敷地をご提供くださった地権者の皆様、設計、工事施工を誠実に履行いただいた関係業者の皆様、そして実施に当たりご理解とご協力いただいた村議会および村民の皆様のおかげと心から深く感謝申し上げます。

今後は、これらの施設の有効利用を推進し、健康と体力の向上、独自の村民文化の形成を図り、誇りのもてる地域づくりに努めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。



地権者を代表して感謝状を受け取る
横瀬芳夫さん

『ふれあいの郷』の竣工式が九月三十日に北浦村文化会館で行われました。当日は心配された台風も去り、関係者多数出席のもと盛大に竣工式が行われました。

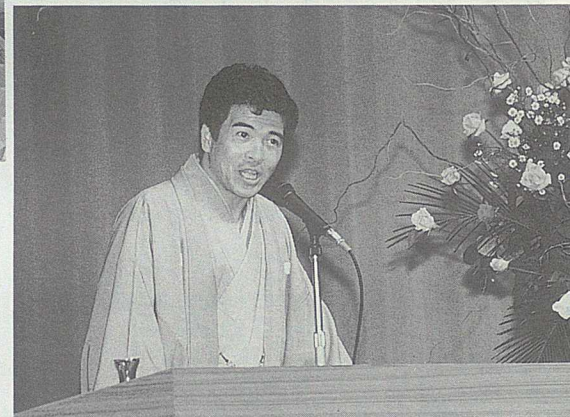
式典では、村長が式辞を述べたあと、土地提供者や工事関係者に感謝状が贈られました。また、式典会場には新しく作られた村のシンボルフラッグも掲げられ、企画課長より「魅力の村づくり」の計画発表がなされました。

北浦村はふれあいの郷オープンを機に、村民一体となってさらに新たな村づくりを目指します。午後からは、武双山の父親である尾曾正人さんと三遊亭歌之介さんを招いて記念講演を行いました。五四二席ある会場も一杯になり立ち見をするほどの盛況ぶりでした。

大いな

『ふれあいの

記念講演



三遊亭歌之介さん

『世の中を明るくする薬』と題して、健康法や長生きのコツなどを中心に話をされました。笑顔の作り方や、オナラの話などユーモラスたっぷりの話で、会場内は90分間笑いの渦でした。みなさん大変明るくなったような気がします。



尾曾正人さん

『武双山生いたちの記』と題して武双山関が相撲を始めたきっかけから関協になるまでの相撲人生を、父親として武双山をここまで育て上げた苦労やエピソードなどを中心に熱心に話されました。相撲は体重と力とスピードと柔軟性だということで、体づくりをするために、毎日沢山の朝食を全部食べなければ学校に行かせなかった話など、今にいたるまでの苦労がうかがえました。茨城県出身ということで、これからはずっと皆さんで応援したいものです。

竣工までの事業経緯

昭和61年度

- 昭和70年度までを計画期間とする北浦村新総合計画を策定。（「北浦村ふれあいの郷」構想を主要プロジェクトとして策定）

平成元年度

- 用地取得開始

平成2年度

- ふれあいの郷構想基本計画及び実施設計業務委託
- 造成工事着工
- 調整池、排水、擁壁工事実施設計業務委託

平成3年度

- 調整池、排水、擁壁工事着工
- 中央公民館基本計画及び実施設計業務委託
- 中央公民館工事着工（平成3・4年2ヶ年継続事業）
- 多目的グラウンド、テニス・クロッケーコート、給・排水、電気、衛生設備、休憩所実施設計業務委託
- 体育館基本計画及び実施設計業務委託
- 文化会館基本計画及び実施設計業務委託

平成4年度

- 多目的グラウンド、テニス・クロッケーコート、給・排水、電気、衛生設備工事着工
- 体育館（平成4・5年2ヶ年継続事業）、休憩所工事着工
- 文化会館工事着工（平成4・5年2ヶ年継続事業）
- 東屋、散策路、植栽実施設計業務委託

平成5年度

- 東屋、散策路、植栽工事着工
- 外構工事実施設計業務委託

平成6年度

- 外構工事着工
- 北浦村ふれあいの郷施設全体の完成

最終回

平成六年九月三十日。ふれあいの郷のオープンと同時に、「魅力の村づくり」計画が本当の意味で産声をあげました。新しいシンボルフラッグ（旗）が揚げられ、村の皆さんには「魅力の村づくり」の心を伝えるためのパンフレットも届けられました。北浦村の十年先、あるいは二十年先の未来を見据えて、平成四年から検討がはじまった「魅力の村づくり」計画は、ここにおいてようやく一つの方向を見出すことができたと思います。

広報の八月号やパンフレットでご紹介したように、その方向とはまず、「これからの村づくりの基本は、本来北浦村がもっている美しさや優しさを失うことなく、同時に新しい考え方や技術を取り入れることにより、村の活性化をはかること」です。これが、Culture + Innovation（カルチャー・アンド・イノベーション）という言葉で表現された考え方です。そして村づくりに取り組むにあたっの、心意気をつぎのようなステートメント（意志の表明、宣言）にまとめました。これは今後の行動の指針にもなるものです。

大いなる夢咲かせます。
「変化の未来」に挑戦します。
「大地の息吹」に価値を創造します。
「明日の世代」にふれあいを手わたします。—— 継承
挑戦とは、明日に正面から立ちむかうということ

です。創造とは、明日をつくることです。継承とは、北浦村の良さを明日につないでいくことです。「立ちむかい」、「つくり」、「そしてつなぐ」。このサイクルを持続させていくことが「大いなる夢」を咲かせることに結びつき、「魅力の村づくり」という目標に向かって進むことになるのです。

具体的な施策にむかって

この計画は具体的な施策にはまだなっていない。そこで村（役場）では目標の実現のため、中長期にわたる施策を今後つくっていきます。平成八年からはじまる北浦村の新しい総合計画の策定も「魅力の村づくり」を基本にしていきます。具体策を考えていくときも、北浦村の財産である「人」・「自然」と潜在力としての「経済」が一体となり、また互いにより影響を与えあう関係となることを基本にします。開発という点でも、いわゆる従来型の土地開発だけではなく、「地域開発」、「人材開発」、「経営開発」、「情報開発」というテーマと視点を重視していきます。

「魅力の村づくり」はいま始まった

しかし、村の計画だけではこの大きな目標の実現には足りません。村の一人でも多くの皆さんのご理解とご協力、とりわけ皆さんの熱意と行動が必要なのです。

後継者問題に悩みながらも、農業に精を出しておられる農家のみなさん。競争の厳しい中でお店をやっておられる商店主さん。工場で汗を流しておられる経営者や従業員のみなさん。運送会社やタクシー会社でハンドルをにぎっておられるみなさん。野菜の出荷で村の名を高めてくれている組合のみなさん。村外に職を得て通勤されているサラリーマンのみなさん。村の歴史と伝統を守ってくださる神主さん。住職さん。学校で生徒たちに勉強を教えてくださいたい先生方。小さな子どもたちの面倒をみてくださっている保母のみなさん。家庭を切り盛りしているお母さん方。家族の健康と安全を願ってお世話をくださるおじいちゃん、おばあちゃん。学校に通って、将来の村をつくってくれるであろう若い人たち。村起こしに熱心なみなさん。村に職を得て村外から通勤している方々。今は都会に住んでいても、村のことを忘れずにいてくれる人たち。遠い海外から村に縁あって移り住んでくれているみなさん。そして、まだまだここには書ききれない村のみなさん。みんな北浦村の仲間です。勇気と知恵と力をだし合って、美しく住みやすく、生き生きとした北浦村をつくっていきませんか。そしてこの素晴らしい村を明日の世代に手わたしていきませんか。「魅力の村づくり」はいま始まったばかりなのですから。

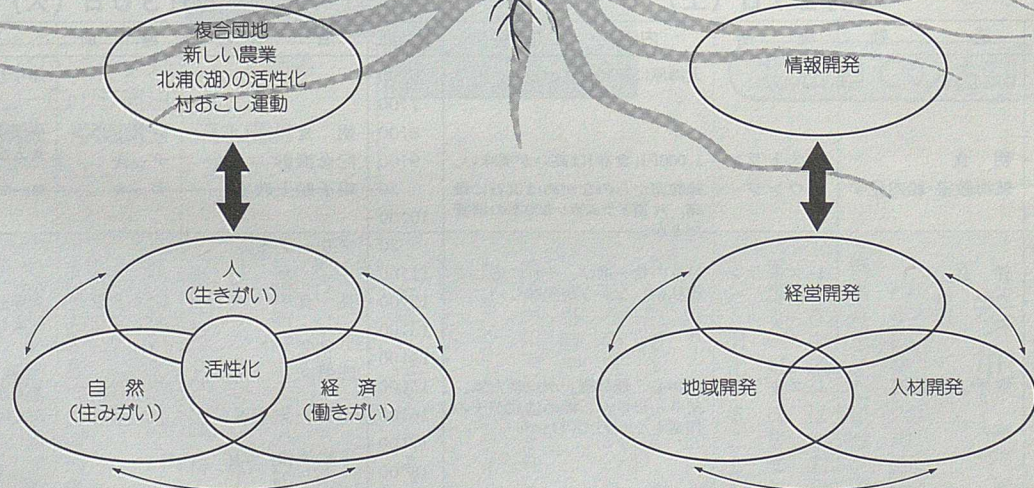
コミュニケーションシンボル

KITAURA
Culture + Innovation

北浦村ステートメント

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。
「大地の息吹」に価値を創造します。
「明日の世代」にふれあいを手わたします。



【連載後記】

今年の一月から連載してきました「魅力の村づくり」も今月が最終回です。連載は終了しますが、これからも本誌はこの「魅力の村づくり」のテーマをいろいろな角度から報告し続けます。それがこの広報誌に与えられた情報開発という課題だと思います。（企画課広報係）

第2回『北浦：親子ふれあいの船』



沙流川 日高高原荘
ジギスカンおかわり自由
マトンは少々切りがした

29日 昼 食
運 河 プラザ
サンドプラスト



十勝岳展望台
「大雪山国立公園」
絶景に無言の親子
キタキツネの出迎え

白金温泉
親子別れて宿泊
睡眠不足

富良野
麓郷の森「北の国から」
黒板五郎のログハウス



27日 20時着
晴 肌寒し
道南バスで日高へ

日高ケンタッキーファーム 21時着
ファミリーロッジ宿泊
28日 晴天 空気清涼 流水清冽
乗馬 アーチェリー マウンテンバイク

北海道での活動

参加してみれば

昨年同様十六組三十二名の参加者で無事終了したイベントだった。大きな違いは、お母さん親子六組の参加と、好天に恵まれ、予定を百パーセント消化することができたこと。お母さんの参加にあたっては、部屋の割振で多少苦労したくらいで、得るところの方が多かったように思う。食事時や、道内バス移動の際など、その場が和やかになる。そして何と云っても、お父さん方のアルコール摂取量に好影響を与えてくれたように感じられた。金曜日深夜の出発、あいだに土・日をはさむとは言え、四泊五日の長旅は、忙しい両親にはやはり障害となり、募集開始時は七組の応募しかなく、一時はどうなるかと心配もしたが、やはり「参加してみれば」得るところは多く、長い長いと恐れていた船旅も、親子はノンビリして過ごし、また北浦とは違う風土をもつ「道内研修」では、親子で話す姿、遊ぶ姿、歩く姿、その他本当に何でもない行動の一つ一つに親子の情愛の深さを感じさせられた。参加者全員から聞かれた「来年も続くように」と願わずにはいられない。教育委員会社会教育主事 石井秀実



父・母・我が子

北海道

八月二十六日(金)深夜に出航した「ふれあいの船」の一行十六組三十二名が、三十日(火)午後八時役場に帰着しました。多少疲れ気味の表情ながら、どの親子にも充実感と満足感があふれており、迎える家族の人々に語る「土産話」に、その喜びがはびこっていました。往復40時間の船旅、そして道内二泊の研修と、親子で過ごす時間が長く、普段の生活では見ることのできない父・母、そして我が子の姿を発見するもの、この旅の特徴となっているわけですが、その他にも得るところは多い。例えば、他の親子と共に長時間を過ごすこともその一つで、「子への接し方で、大変参考になった」「お父さんの、細やかな接し方に感心させられた」等々……。 「帰りは飛行機が」「いや船の方が」等熱心な話も持たれ、「来年も是非続けて欲しい」等の感想で終了した第二回「親子ふれあいの船」その概略を紹介させていただきます。

8月27日(土)				8月30日(火)			
時刻	活動	場所	内容・感想等	時刻	活動	場所	内容・感想等
6:00			大海原に朝陽がまぶしい。	6:00			帰日も太陽がお出迎え。
7:00				7:00	朝食	レストラン	やはり1,000円は高い。そんなに食えないのに。
8:00	朝食	レストラン	1,000円(食券)は高いが美味しい。	9:00	記念撮影	デッキ	
9:00	航海教室・船内見学	ラウンジ	操舵室からのながめは流石に最高。片道ドラムカン300本の消費だとか。	30	親子船上教室	デッキ	ロープワークと手旗信号教室
10:00				10:00			
11:00				30	フリータイム		
12:00	昼食	レストラン	好みの物を選び、それに応じて支払い。なかなか美味しい。	11:00			
13:00				12:00	昼食	レストラン	食券を残さず、しっかりいただきました。
14:00	親子工作教室	レストラン	今年も「飛行機」が一番人気。父さん母さん、始めは我が子の作業をながめていたが……。	13:00	アンケート		
15:00				14:00	感想文		「これかいいやだ」という親子、できあがった「報告書」を楽しみにがんばればかえり。
16:00	映画鑑賞	ラウンジ	いよいよ北海道も間近、船旅の疲れもピーク。ゴロ寝、ゴロ寝。	15:00	フリータイム		
17:00	夕食	レストラン	運動せずとも腹はへる。船の振動が関係するか。現金を添えて食べる。食べる。	16:00	下船準備		
18:00				17:00	大洗港着		長い長いと思っていた船旅も終わり。
19:00	下船準備・身辺整理			18:00	バス移動		
20:00	苫小牧港着・下船・バス移動			20:00	解散式	北浦役場 駐車場	土産話と思い出を、カバンにいっぱい詰めこんで、迎えるの車に乗り込む親子。「お疲れさまでした。さようなら」
21:00	日高ケンタッキーファーム入浴・消灯		今年も来ました。「ログハウス」	21:00			
				22:00			
				23:00			

船内での活動



親の感想

息子の自立に

役立つ経験

真家 守男

自営業は、休みが自由にとれそうで、実はなかなかとれるものではありません。今回、村のこの企画に、思いきって出かけてみることにしました。申し込んでからは、息子よりも私の方が楽しみにしていて、二十組の枠内に入れることを願っていました。ところが、申し込みが少なく、希望者は全員行けることになり、嬉しい反面「何でかな？」という疑問を持ちました。

私自身、北海道も、二十時間の船旅も初めてのことです。普段、時間を追った

り追われたりの毎日が、あたりまえになっ
ていますが、二十時間の船の中では、
久々に時間の流れを感じたように思いま
した。大人にとっては「退屈な時間」を
子供達は「楽しい時間」にしてしまっ
そのパワーが羨ましい限りです。
北海道には二日間の滞在でしたが、見
学あり、体験ありの盛りだくさんでした。
中でも一番印象深かったのは、「北の国
から」で使われた、「黒板五郎さんの家」
でした。「ここで、純くんと、螢ちゃん
が……」と感動に浸っていても、我が子
はすでに「北の国から」を知らない世代
であり、寂しい気がしました。

多くの親子に

この体験を

千ヶ崎 章

私は、このたびの親子ふれあいの船に
参加して、大変素晴らしい体験をさせてい
ただきました。

私と娘は、二人だけで旅をするのは始
めてです。それに四泊もしたのですから

それだけで素晴らしい体験なわけです。
一日目、大洗港よりサンフラワー水戸
丸で夜中の出港です。娘は感激のあまり
なかなか眠れないようで、時々部屋を出
ていつてはうろろろしてから帰ってきま
す。心配しながらも私は、仕事の疲れが
で眠ってしまいました。

船の中は、実にのんびりしています。
仕事を忘れて私は、とてもリフレッシュ
できました。

苫小牧港に着いた頃は、すでに日が落
ちていました。二十時間以上の長い船旅
でした。今夜の宿は日高ケンタッキーフ
ームのバンガロー。

北海道の朝が来ました。雄大でのんび
りとした牧場が、目の前に広がっていま
す。バスで、富良野・大雪山・白金温泉
と移動します。見渡す限りの田んぼと畑。
遠くに低い山。田んぼには実った稲穂。
畑には玉ネギその他の野菜。これらの風
景は、世界の一流画家の描いた絵よりも
素晴らしく、私の目には映りました。

北キツネも私達を歓迎して、目の前に出
てきてくれました。親子はみんなで感激
し、バスの中は大きわぎでした。小樽、

札幌は、これまでとは違ったおもむきで
ガイドマップをたよりの、娘と二人の自
由行動は、大変印象に残りました。

これを読んで、「私も参加してみたい」
と思われた方がいましたら、是非参加さ
れてはいかがでしょう。
この企画が長く続いて、多くの親子が

この体験をできることを願いながら、筆
をおくことにします。

普段見られない

息子の様子

森崎 豊子

大洗港を出発する時は、どんな旅にな
るのか心配と不安な気持ちがありました。
そのせいか、朝起きると船酔いをしてし
まいましたが、昼頃にはすっかり治まり
紙飛行機や、折紙遊びをしている頃には
ウキウキと楽しい気分になってきました。
北海道に着くと、日高では子供と一緒に
マウンテンバイクに乗って、広い牧場
をサイクリング。十勝岳では、可愛い
キタキツネに出逢い、小樽の運河ブラザ
ーでは、コップに思い思いの絵を書いて
。

一番心に残ったのが、札幌の夜景でし
た。第一テレビのタワーから見た大通り
公園の夜景は、ポケットに入れて持ち帰
りたいほどでした。

この旅行で、普段では見られない息子
の良い面、少しの悪い面を客観的に見る
ことができました。

そして、この旅を誰よりも楽しんだの
は、他ならない私だったような気がしま
す。そんなこんなで、あつという間に四
泊五日の楽しい旅が終わってしまいました。
た。

北キツネが

目の前に

斉藤 祥枝

私は、第二回「北浦親子ふれあいの
船」に参加して、とてもよかったと思
います。

それはなぜかと言うと、今まで家族旅
行はした事が何度かあったけど、お父さ
んと二人だけというのは初めてだったし
船（サンフラワー）に乗ったのも初めて
他の学校の子と長い間いっしょに過ご
す事も今までになかった事なので、全部初
めての体験ができたからです。

船の中では、紙飛行機やロープワーク、
手旗信号を教えてもらいました。

日高ケンタッキーファームでは、大好
きな馬に乗ったり、アーチェリー、パッ
トゴルフなどをお父さんや友達としまし
た。天気よかったので、とてもさわや
かでした。

小樽では、ガラスに自分だけのデザイ
ンをしたり、シヨッピングをしたりしま
した。

その他、いろいろ見て回りましたが、
北キツネを見た事が一番うれしかったで
す。テレビでは何度か見たけど、2m位
の所で見た時は感激しました。

ドキドキしたり、不安だったり、楽し
かったり、うれしかったりの体験を忘れ

ないで、これからも頑張りたいと思いま
す。

皆さん、お世話になり、ありがとうございました。

すごく広くて

空気がきれい

野原 輝明

北海道に行ったらすごく広くて、とて
も空気がきれいでした。新しい友達もで
きたし、いろいろなことをしたし、とて
も楽しかったです。

特に楽しかったことは、写真をとった
り、ホテルに泊まったり、おふろに入っ
たり、ゲームコーナーで遊んだりしたこ
とです。それから、コップに文字や絵を
書き入れたことです。宇宙の星や、地球
や土星を書きました。「とても上手に書
けたね」と言われました。コップができ
あがるのが楽しみです。

札幌は、ビルがたくさん建っていて、
テレビ塔もとても高く、光がとてもき
れいでした。ラーメン横丁には、たくさ
んラーメン屋がありました。そのラーメ
ンは、とてもおいしかったです。

四泊五日は、とても短かったです。
たくさんのお世話になりました。役
場のおじさんたち、とてもお世話になり
ました。ぼくは、大きくなったらまた北
海道に行きたいです。



子の感想

あこがれの

北海道を旅して

埴 京

私は、北海道に行くことも、船に乗る
ことも初めてだったので、前の日には、
「京は足が地についてないんじゃないか」
と言われるほど浮かれています。

大きな船に乗り、北海道に着くまでの
二十時間は、ずっと北海道のことを想像
していました。「北海道の広大な畑、地
平線、牧場では馬が走りまわり、おいし
そうに草を食べている。そんなことが頭
の中に浮かぶと、うれしくて笑みがこぼ
れてくるのです。

北海道に着いて一日目は、「北の国か
ら」の「五郎のログハウス」を見たり、
とうもろこしを食べたりしました。二日



小学校生活最高の思い出ができました。
ありがとうございました。

目は小樽で運河を見たり、札幌の時計台、
テレビ塔からの夜景を見たり、感動の連
続でした。私としては、地平線の見える
ような広い所へも行ききたかった気もし
ました。今度また北海道へ行く機会があ
つたら、道東の方をもっとゆつくり旅し
てみたいと思っています。

ふれあいの船のみんなと過ごした五日
間が終わってみると、短かった、楽し
かった、ちょっと疲れたかな、などとい
う感想が出てきます。

他の学校の友達とふれあえたこと、船
に乗れたこと、サンドブラストが作れた
こと、札幌ラーメンが食べられたこと、
時計台が見られたこと、キタキツネに出
会えたこと等、とてもよかったと思
います。こんな数々の体験をお母さんと一
緒にできたことも、とてもうれしく思
っています。

小学校生活最高の思い出ができました。
ありがとうございました。

国民年金の概要

年金受給者2,589人 年金加入者3,614人

(北浦村)

(単位：人)

区分	年次	人数	500	3,000	4,000
被保険者総数	H1年	4,014			
	H3年	3,740			
	H5年	3,614			
第1号被保険者数	1年	3,630			
	3年	3,287			
	5年	3,112			
任意加入被保険者数	1年	4			
	3年	4			
	5年	8			
第3号被保険者数	1年	407			
	3年	449			
	5年	494			

年金種別	年次	人数	1,000	2,000	3,000
老齢基礎年金	H1年	349			
	H3年	598			
	H5年	911			
老齢年金	1年	1,246			
	3年	1,226			
	5年	1,146			
5年年金	1年	126			
	3年	112			
	5年	98			
通算老齢年金	1年	147			
	3年	153			
	5年	146			
老齢福祉年金	1年	169			
	3年	114			
	5年	68			
障害基礎年金	1年	176			
	3年	177			
	5年	176			
その他年金	1年	33			
	3年	60			
	5年	47			
計	1年	2,246			
	3年	2,440			
	5年	2,589			

※その他年金は遺族基礎年金、寡婦年金、死亡一時金です。

〔年金受給総額＝H1年度825,409千円、H3年度981,864千円、H5年度1,103,187千円〕

国民年金被保険者の推移

国民年金受給者の推移

国民年金の被保険者は、全体的に減少しており、特に第一号被保険者が減っています。これは、二十歳到達者の大半がサラリーマンに就職して、農業などの自由業への就業が少ないためと思われます。

一方、二十歳代から三十歳代の女性には、結婚、育児等により第三号被保険者(サラリーマンの妻)に種別変更し、更に第二号被保険者(サラリーマン)に移行(年数経過後)する傾向にあります。

年金受給者については、老齢、五年、福祉年金等の受給者は、年々減少する反面、老齢基礎年金受給者(大正十五年四月二日生まれ以後)が増加し、今後特に、団塊の世代(昭和二十二年から二十四年生まれ)の被保険者が六十五歳に到達する平成二十二年以降は急激な増加となり、「超高齢社会」が出現するものと予想されます。

年金額については、トータルとして年金受給者の増加、毎年の年金引き上げにより増加しています。しかし、個々の年金受給額については、毎年の引き上げ額程度の増加と思われます。これは、繰上げ請求(六十歳で請求)が多いためと思われます。

特に本村を含め茨城県は、繰上げ請求の割合が七割と、全国一高



いと言われています。

平均寿命の伸長傾向、超高齢社会の到来などを考え合わせ、年金請求に際しては慎重に対処する必要があると思われます。

保険料納付状況(検認率)は、納税組合による納付体制であることから、毎年九五パーセント強で推移しており、管内町村でも一、二の位置を占めております。また、村や広域市町村事務組合等で行う、生活環境施設、福祉施設などの整備事業に必要な地方債(年金積立金還元融資事業)もスムーズに利用できる状況にあります。

しかし、無年金者、五パーセント前後の未納状況などもみられ、公平性、将来の年金権確保の面からこれらの方々の理解が必要であります。

生涯学習

—出愛・ふれ愛・学び愛—

息子が通った養護学校は、大変重度の障害を持つ子が多い。いくつもの障害を併せ持つ子も多い。歩ける子、話せる子は、ほんの少し、半数以上は給食をそのまま食べられない。きざむ、ミキサーにかける、裏ごしする。胃に通したチューブで、水分や栄養を補給する場合もある。

障害も健康状態もさまざまな子供達が、それぞれにふさわしい過ごし方をする。

数学、畑仕事、文字遊び、日なたぼっこ……。

授業も教材も手作りで、一人一人に合わせた工夫がされている。言葉も身動きもままならない彼等は、ありとあらゆる手段を駆使して、感情を表現する。

息子のクラスメイトが、なつかしい先生に再会した時のこと。彼女はキヤアと叫び、両手で顔を覆い、机に伏せ、顔をあげ、指の間から先生をのぞき、又キヤアと叫び机に伏せた。再び顔を上げた時、笑顔に涙がボロボロこぼれている。マヒでねじれた手に粘土をのせ、先生に向って精一杯に差しのべた指先には「あげる」「好き」「うれしい」そんな気持ちがいつぱいつまっていた。

素直な動作からは、想いがジンジン伝わってくる。だから周囲の者は、子供達の僅かな動きにも、一瞬の笑顔にも一喜一憂、一生懸命になってしまふ。

彼等は過去を悔まない。明日を思い煩わない。損得を計算しない。自分を飾らない。そして力を尽して生命を生きている。私は彼等によくを教わった。

「社会教育」

(作詩家山田とも子より)

間口を広げて言うなら、生涯学習は「生活すること」「生きること」と言うことができる。

しかし、その中味の濃さは、体験を通してのものが、最も充実しさらにそれは、より身近なところ、最大最深と言うことができるようである。

講座教室名	対象	日 時	内 容
パッチワーク	一般成人(20名)	10月25日～3月14日 毎月第2・4火曜日 午後7時～午後9時	パッチワークの基本を勉強します。手作りを楽しみましょう。全10回
暮らしの講座	一般成人(20名)	10月12月 午後1時半～午後3時半	暮らしに潤いと安らぎをもち、楽しい仲間作りを目指します。全5回
絵画	一般成人(20名)	10月12月 午後1時半～午後3時半	風景画を中心に、基礎的技術を習得します。全10回
太極拳	一般成人(20名)	10月13日～2月23日 毎週木曜日 午後7時～午後8時半	太極拳の基礎を学びます。健康維持・ストレス解消に。全20回
生け花	一般成人(20名)	10月14日～2月24日 毎月第2・4金曜日 午後7時半～午後9時	生け花の基本を学びながら、楽しい仲間作りを目指します。全10回
歴史	一般成人(20名)	1月～3月 午後1時半～午後4時	古文書解読の基礎知識を習得し、北浦村の古文書を解読しましょう。全3回
笠作り	一般成人(20名)	10月25日～27日 午後7時～午後10時	北浦村古来の伝統工芸に挑戦し、技術の習得と手作りの楽しみを味わう。3日連続
しめなわ	一般成人(20名)	10月20日 午前9時～午後3時	自分だけの手作りのしめなわ、宝船を作りわが家に飾ってみよう。1日のみ



第15回

村民ゴルフ大会

九月二十日に第十五回村民ゴルフ大会が、北浦ゴルフ倶楽部で行われました。

爽やかな秋風が赤とんぼを泳がせ、見上げれば空はどこまでも高く、まさしく絶好のゴルフ日和でした。五十八名の参加者が十八ホールストロークプレー(新ペリア方式)で争いました。結果は次のとおりです。

- 優勝 宇津木 信 一さん
準優勝 横 瀬 惣 一さん
第三位 藤 崎 昂 久さん
第四位 方 波 見 亘 快さん
第五位 方 波 見 康 さん
第六位 井 坂 文 稔 さん
ベスグロ 成 田 幸 男 さん



さわやか健康

検診は長寿につながる第一歩



各種教室・相談等スケジュール

事業名	月日	受付時間	場所	対象
育児相談	10月17日	PM1:30~2:30	母子健康センター	乳幼児
糖尿病予防教室	21日	PM1:00~1:30	北浦村中央公民館	一般住民
肝臓病予防教室	24日	PM1:30~2:00	北浦村役場	〃
乳児健診	25日	PM1:00~1:30	母子健康センター	H6.3.1 ~6.30生れ
老人健康相談	26日	AM10:00~	長野江田園 都市センター	寿 会
ポリオ	27日	PM1:00~2:00	母子健康センター	H6.2.1 ~6.30生れ
子育て講演会	〃	PM2:00~2:10	北浦村中央公民館	乳幼児の親等
一般健康相談	28日	PM1:30~2:30	母子健康センター	一般住民
献血	11月1日	AM9:30~3:30	津澄第一公民館	16~64歳
母子保健教室	8日	PM1:00~1:30	母子健康センター	妊 婦
糖尿病予防教室	15日	PM9:00~9:30	北浦村中央公民館	一般住民

まず、参加者の持参したバスタオル・ストッキング・ビニール等を使って洗髪パッドを作り、それを患者（モデルはヘルパーの平山さん）の頭の下に敷き、寝かせたままでの洗髪の手技を習得しました。参加者は在宅介護者の外民生委員、母子保健推進員で総勢54名でした。

講習の場では成程と納得しても、自宅で実行してみたらうまくいかなかった、という場合もあるかもしれません。役場の保健婦は、家庭訪問による介護方法の相談・援助を行っていますので困った時はお気軽にご相談下さい。

何よりもお年寄りの身にな

我が国の平均寿命は男76.04才、女82.07才と今や世界有数の長寿国の一つとなりました。

「健康で長生きしたい」と誰もが願っていますが、残念な

在宅介護者洗髪の実技指導を受ける



がら床に就いてしまったり、ボケてしまってお年寄りが増えている昨今です。

北浦村でも約50人のお年寄りが在宅介護を受けていますが、去る9月16日に、在宅ねたき老人等介護講習会が津澄第一公民館に於て開かれました。日赤茨城県支部より安由美子さんを講師に招いて、身体の新潔の保ち方として特に洗髪の方法を中心に実技指導を受けました。

ヘルシーフッキング

れんこんだけのきんぴらよりもしっとりとした口当たりが加わって香りがよい小鉢になります。

わかめとれんこんのきんぴら

(材料) 4人分	
わかめ(塩蔵)	60g もどして 120g
れんこん	150g
ごま油	大さじ2と1/2
酒	大さじ2
砂糖	大さじ3
しょうゆ	大さじ1と1/2
けしの実	少々

(作り方)

1. わかめは洗って塩辛さが抜けるまで塩分を除き、3cm長さに切る。
2. れんこんは皮をむき、薄い輪切りにし、しばらく酢水にさらしてざるにあげる。
3. フライパンに油を熱し、れんこんを中火で炒め、透き通ってきたら酒を加えて、しんなりするまでよく炒める。
4. わかめと砂糖、しょうゆを加え、汁がなくなるまで炒める。
5. 鉢に盛り、けしの実をふる。

Ca 170mg 脂肪 14.2g
1人分栄養量 133Kcal たんぱく質 18.3g
塩分 0.9g



ベッドに寝ている場合



扇子折りに
たたんだタオル

ビニール

洗髪パッド
ふとんに寝ている場合



ハウステンボスで交流

9月3日・4日(1泊2日)の日程で農業後継者交流事業による長崎ツアーが行われました。男性7名、女性12名が参加したこのツアーは2日間とも好天に恵まれ、初日は長崎市内観光(平和公園、大浦天主堂、グラハム園等)を行い、2日目は長崎ハウステンボスで楽しむことができました。

最初は男性同士、女性同士の行動が多かったのですが、だんだんとなれてくると異性との会話はずみ、楽しく交流できました。



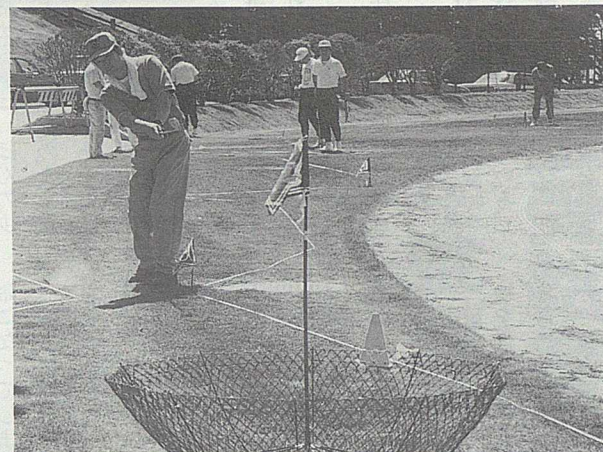
村内インディアカ大会 山田3区4連覇

9月24日に第4回村内インディアカ大会が北浦村体育館で行われました。夜間を利用したこの大会に、地区体育推進員等の協力のもと、31チームが参加しました。午後7時から競技開始となりましたが、1回戦から白熱した試合が続ぎ、決勝戦になるころには、午後11時を過ぎていました。

結果は過去3回連続優勝をしている山田三区が優勝しました。

□優勝 山田三区チーム □準優勝 成田区チーム
□第三位 小貫上区Aチーム・小幡南区Aチーム

むらの話題



ターゲットバードゴルフ大会 優勝は吉川チーム

教育委員会ではだれにでも気軽にできるレクリエーションスポーツの一つとしてターゲットバードゴルフの普及を図っているところです。

9月4日に地区体育推進員などの協力により、第1回目の大会が村民第1グラウンドで行われました。当日は21チーム(1チーム4人)が参加し、始めての方も多かったため、競技説明も熱心に聞いていました。ターゲットバードゴルフとは、ゴルフボールにシャトルを付けたようなものを、ゴルフのピッチングウェッジで打つ競技で初心者でも簡単に覚えられます。

競技の結果は次のとおりです。

- 優勝 吉川区チーム
□準優勝 繁昌区Bチーム
□第3位 小幡北区Aチーム
○ベストグロス賞 水野昭代さん(小幡)



村内ミニバスケットボール大会 優勝は武田小

9月25日に村内ミニバスケットボール大会が北浦村体育館で行われました。村内各小学校より6チームが参加しました。

□優勝 武田小チーム □準優勝 津澄小Aチーム
□第三位 要小チーム

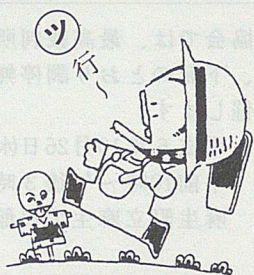
TOPICS

いっぱい
あっぺえ

むらの方言ベスト

いづづ

- ① 軒先に『つとろ』ができた。
訳 氷柱
- ② 屋根から『つつこぢる』。
訳 落ちる
- ③ 標的に矢が『つつぼうさる』。
訳 突き刺さる
- ④ 『つんつるてん』の浴衣を着る。
訳 短い
- ⑤ むかで競争で『つんのめる』。
訳 前に倒れる



読書

エッセイ

本

との出会い

親と子の心のかけ橋

(文珠川雅士)

小貫 松 金 君 子

この本を読んで深く感銘したことばがあります。それは「オアシス運動」ということばです。

- (オ) おはようございます。
(ア) ありがとうございます。
(シ) しつれいします。
(ス) すみません。

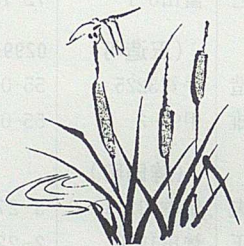
という活動を行うことです。日常生活の中に素直さや、感謝の心、謙虚さを感じたとき誰もが心引かれると思います。よく「子は親の背を見て育つ」といわれるように子どもは、お父さんやお母さんなど身近にいる大人達のしぐさを見ていつの間にかそれをまねています。私も自分の子どもの行動を見て、私の姿なのかなあと考えさせられました。二度とない人生、かけがえのない人生を心豊かに生きるため何が大切か、親子で一緒に考えてみたいのです。

きたうら

根本 かほる 選

生活から逃げて来ておりリンゴ村
百日紅刻を惜しみて咲きつづく
ラムネ飲み昔を語る老夫婦
みちのくの山の澄みゆく鬼ヤンマ
山を背にせる家々の残暑かな
秋の風雲ついて来る分水嶺
霧晴るる八幡平の無口の木

◎ 残暑きびしい中みちのく
田沢湖角館八幡平へ一泊
吟行にいつて来ました。

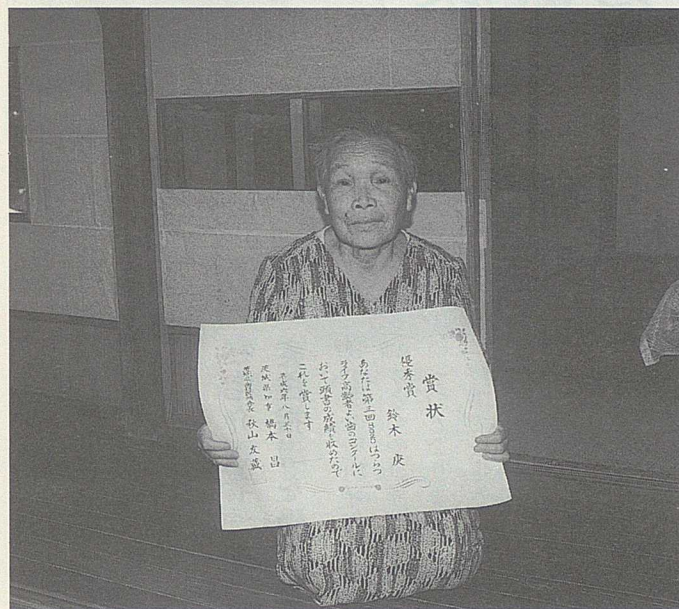


羽生 まき
石上 ちか子
川又 浩
仲居 いみ子
松本 正義
高野 三千春
根本 かほる

にこにこ スナップ



むらづくりは人づくり



鈴木 庚さん(繁昌)

自分の歯は何本あるのですか？
今までに一本だけ虫歯になりましたが、その歯が抜けてしまいました。今は一本も虫歯がありません。自分の歯がまだ二十七本あります。どうしてそんなに歯が丈夫なんですか？
私は福島県須賀川市の出身なんです。幼いころよくイナゴの佃煮を食べていたんですよ。イナゴは固くて美味しいですよ。今でも固い煎餅などをよく食べます。それから好き嫌いの全然なく、何でも食べたのが良かったのかと思います。ただ、甘い饅頭はあまり食べません。
歯だけでなく、体も健康そうですね？
私は今まで病気を患って医者にかかったことがありません。耳も良く聞こえるし、目も良く見えます。いまでもミシンで裾上げ程度はやっていきます。この前久しぶりに風邪をひきましたが、直ぐに治ってしまいました。
健康のために何か特別のことをしているのですか？
特別体を動かすことなどはしていません。クロッキーなどもやりません。毎日の家の留守番をしています。友だちが遊びに来てくれるので毎日楽しいですよ。

ひろば

全部自分の歯

高齢者よい歯コンクール
優秀賞

茨城県歯科医師会の主催で行われた八〇二〇はつらつらイフ高齢者よい歯コンクールにおいて、鈴木庚さん(八十二歳)が優秀賞に選ばれました。同コンクールには四百名に余る応募があり、審査の結果十名が最優秀賞、優秀賞に選ばれ、八月三十日に行われた第三回茨城県民歯科保健大会の席上で表彰されました。鈴木さんに健康の秘訣を聞きましたので紹介いたします。

優秀作品を表彰

北浦科学展

九月二十七日に、中央公民館において北浦村教育委員会及び北浦教育部の主催による北浦科学展の表彰式が行われました。各小中学校から出品された科学研究作品及び発明工夫作品の中から、次の方々が入選されました。

科学研究作品

- 村長賞
作品名『水をきれいにしているものは何だろう』武田小三年児 玉まどかさん
- 議長賞
作品名『どんな葉に水玉ができるか』津澄小三年庄司宏さん、阿須間麻美さん、飯島学さん、真家美和さん
- 教育厚生委員長賞
作品名『スズムシの研究』要小五年 塙悠喜さん



研究作品を発表する児玉まどかさん

- 作品名『結晶づくりパート四』三和小六年河野健太さん、河野将士さん、高須一典さん、森崎修一さん
- 作品名『食塩と砂糖のなぞ』北浦中一年田口智子さん、宮内喜代美さん
- 議長賞
作品名『ギブス用スリッパ』三和小六年飯尾温子さん
- 作品名『便利な制服入れ』北浦中一年馬場智枝己さん

- 議長賞
作品名『カップにへんしん』小貫小三年大里文子さん
- 作品名『ポスター用画びょう』北浦中二年成田崇さん、出久根博文さん、横田純一さん
- 教育厚生委員長賞
作品名『便利な縮尺ものさし』津澄小五年大川俊幸さん
- 作品名『アキカンつぶし機四号』三和小六年坂田孝幸さん
- 作品名『かとり線香の火消し』北浦中一年河野恵子さん
- 紙面の都合上教育委員長賞、教育長賞、部会長賞、実行委員長賞は省略させていただきます。

昔から伝わる 年中行事

村、集落、地域集団で古くから習慣となっている民族行事の主なものを毎月紹介します。

十月の行事

十月は神無月で、国中の神様が雲大社へ会議に集まるので、神様が留守になるという。行事の特色は刈り上げの祝いである。どこの家でも稲刈りが終わったので、まず新穀で餅をついて田の神にお礼の祭りをし、田の神様はこの晩供えた餅を田んぼのカエルに背負わせて天にお帰りにするという。

モチ」と呼ぶ、十月は亥の月であり、亥の日に当る日、餅をついて祝う。

この日、いよいよ出雲大社で良縁が結ばれる日であるので、夕方餅をついて、神棚に供えます。早くついて供えたと縁が早いという。

「亥の子餅」を蛙が負って、大根畑のそばを通ると大根がみたくて、抜け出し早く育つという。

10月20日 えびす講

恵比寿・大黒様を飾り、尾頭つきの魚をつけ、お膳を床の間に上げ、一升餅(一・八・れ)にお金を入れてお供えする。甘酒も供える。その膳を下げて主人と長男が食する。

10月17日 栗月見

旧暦九月十三日の夜は、あとの月見または栗月見ともいい、十五夜と同じく縁に机を出して祭る。十三夜にはススキは三十三だんごは一升(一・八・れ)の米を粉にして、普通十三個つくるが、だんごより新穀でばちもちをつくる家も多く、一般には三個供える。そして柿や栗などのほか特に大根を供える。家によつてはススキの穂だけしか供えない家もある。

栗月見というのは、お月様に栗をお供えして、月を眺めながら家族でその栗を食べる。

10月 亥の子餅

十月の亥(い)の日、エノコ

65歳までの継続雇用を 10月は高齢者雇用推進月間

本格的な高齢者社会の到来を迎え高齢者が安心して生活が送れるようにするためには、高年齢者が長年培ってきた知識・経験・技能を生かせる働く場を確保していくことが、必要となります。

このため、60歳定年の完全定着を基盤とした65歳までの継続雇用と就職希望者の早期再就職促進などを推進しているところです。

高齢者の雇用に関する諸問題については、各公共職業安定所及び高年齢者相談室などの専門機関でご相談ください。

IBARAKI ウォークフェスティバル

関東ふれあいの道の一つ「学園都市のみち」、田園と都市の緑を楽しむ14kmのコースを歩いてみよう。

■日 時 平成6年10月30日
午前9時から

■集合場所 つくば市二の宮
洞峰公園

■参加資格 小学生以上の健康に自信がある方。

■参加料 無料

■受付時間 午前8時30分～9時

■問 合 先 茨城県生活環境部環境
保全課(☎0292-21-8111内線2114)

調 停 無 料 相 談 会

麻生調停協会では、最高裁判所の委嘱により、下記のとおり調停無料相談会を開催します。

■相 談 日 平成6年10月26日(水)
午前10時～午後3時

■場 所 麻生町立麻生公民館

■相談内容

- ・民事関係 {土地建物、金銭貸借借
地借家、交通事故等}
- ・家事関係 {離婚、相続、遺産相続
等}

※詳しくは麻生簡易裁判所まで
(麻生町麻生143 ☎0299-72-0091)

銚田二高が男女共学へ

銚田二高は創立以来女子校として地域の女子教育を担ってきました。今年で創立70周年を迎えたのを契機に、来年度から男子生徒80人(2クラス)程度を受け入れ男女共学の体制になります。

そこで男子生徒受け入れのための施設整備、教育課程等の整備も万全を期しています。

二高では部活動と進学指導の一層の充実を目指しています。新しい伝統づくりのパイオニアとして意欲的な男子生徒の入学を期待しています。詳しくは二高に問い合わせてください。(☎3-2171)

税 金 無 料 相 談 会

税理士会では11月11日より17日までの「税を知る週間」において税務に関する無料相談を実施します。相続税、贈与税、所得税、消費税、法人税等についてお気軽にご相談ください。

■相 談 日 平成6年11月15日(火)
午前10時～午後4時

■場 所 各税理士事務所

氏 名	事 務 所	電 話
	(麻生町)	0299-
市 村 保	麻生1078-1	72-2240
大 橋 誠 一	行方1978-1	77-0586
鬼 沢 政 雄	矢幡906-2	73-3122
川 尻 貞 夫	麻生974	72-2855
鈴 木 丈 男	舟子275	77-0040
関 誠	麻生1281-4	72-1180
高 橋 仁	麻生1124-2	72-1740
寺 内 正 三	富田6-1	72-1839
	(玉造町)	0299-
荒 井 豊 造	手賀3225	55-0179
小野口俊雄	甲98-3	55-0536
	(銚田町)	
坂 場 信 夫	新銚田2-17-2	3-2704
富 田 正	銚田1560	2-2245
百 瀬 達	烟田98-5	2-2527

犬・猫にも家族計画を

飼っている犬・猫が子供を産んだがもらい手がみつからない、捨て犬・捨て猫されたなどという理由で、動物指導センターに持ち込まれ、処分される子犬・子猫の数は1年間に16,000匹以上になっています。

さらに、捨て犬・捨て猫が、のら犬・のら猫となって、社会に様々な被害を及ぼしたり、また、繁殖時期に群がってケンカしたり、夜鳴きするなどの騒々しさも近所の迷惑になっています。

不幸な生命を産まない、産ませないために、避妊・去勢手術を受けましょう。手術の時期は生後半年位を目安に考えましょう。詳しくは最寄りの開業獣医師にご相談下さい。

■茨城県動物指導センター

笠間市日沢47 ☎0296-72-1200

産業廃棄物の不法投棄をなくそう

—— 10月は不法投棄防止強調月間 ——

土地所有者(管理者)のみなさんにとっては、不法投棄ということ、自分の土地に無断で廃棄物を投棄された場合だけをお考えになるかも知れません。しかし、たとえ自分の土地であっても、他人に依頼して行ったか自分で行ったかを問わず、許可を受けずに産業廃棄物の埋め立てを行うと、不法投棄となってしまう場合があります。

産業廃棄物の取り扱いについては、法律により厳しく規制されており、事業として運搬や埋め立てを行う場合には、県知事の許可が必要です。産業廃棄物による土地の造成は、この事業にあたるおそれがあるため、安易に無許可業者等の誘いに乗って、自分の土地だからといって土地造成と称して、産業廃棄物による埋め立てを行うこののないよう注意して下さい。自分の土地に廃棄物を不法投棄されないよう、所有者として日頃から適正な監理を心がけておきましょう。

■産業廃棄物についての問い合わせは……

○北浦村役場生活環境課(☎5-2111)

○鹿行総合事務所環境保全課(☎3-4111)

○県廃棄物対策課(☎0292-21-8111 内線2123)